

報告事項 (1) 公共交通に関する視察結果の報告について

資料3

令和7年度第3回 成田市地域公共交通会議 資料

公共交通に関する視察結果の報告について

令和8年1月19日
成田市都市計画課

視察目的：成田市地域公共交通計画における施策の情報収集・検討のため

ページ	視 察 先	成田市地域公共交通計画における 該当施策
3	香取市 デマンド交通「かとくる」 (実証実験中)	施策②-1 オンデマンド交通の見直し 施策②-2 交通空白地域解消のためのデマ ンド交通の導入
5	千葉市桜木町 グリーンスローモビリ ティ「さくらまる」	施策③-2 ラストワンマイルの環境整備
7	四街道市千代田地区 グリスロよつか いどう (実証実験中)	
9	柏市柏の葉「自動運転バス(レベル 2)」実証実験	施策⑥-4 MaaSや自動運転等の新技術の情報 収集・検討
11	(参考) TOYOTA「e-Palette」試乗	施策①-1 まちづくり施策との連携

香取市デマンド交通 「かとくる」 (実証実験中)

<視察日時・場所>

令和7年8月22日 (金) 13:30 ~ 16:00
香取市役所周辺

<運行内容>

名称: かとくる
運行主体: 香取市
運賃: 区域運行

大人: 5km未満 600円 5km以上 900円
障がい者・障がい者の介助者 (1名まで)・運転経歴証明書保有者
未就学児同伴保護者 (1名まで): 5km未満 300円 5km以上 600円
中高生: 300円
小学生以下: 無料

ルート運行 大人: 300円
障がい者・障がい者の介助者 (1名まで)・中高生: 100円
小学生以下: 無料

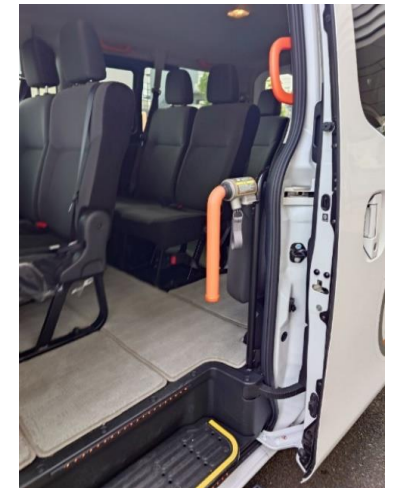
定員: 8名 (補助席含む)

対象者: 利用登録をした方

運行時間: 区域運行 8:00 ~ 19:00

ルート運行 7:00 ~ 19:00

平日のみの運行



香取市デマンド交通 「かとくる」

<車両内容>

- ・日産 キャラバン、セレナ
- ・車両は市が保有し、タクシー事業者へ運行を委託

<試乗内容>

大戸・瑞穂ルート第3便 15:30 ~ 15:44

香取市役所 - 水の郷さわら - 県立佐原病院 - 牧野 - 寺宿 - 忠敬橋 - 東関戸 - 佐原駅(ここで降車)

主な聞き取り内容

- ・市内路線バスの再編(廃止・統合)に伴い、廃止路線の代替とする目的で運行を開始。
- ・自家用有償旅客運送事業(78条許可)により運行。車いすは乗車不可。一般乗合旅客運送事業(4条許可)ではないため、バリアフリー対応必須ではない。
- ・天候や時間帯によっては、利用希望が多く乗り切れないことがある。満員の場合は予約システムにて予約ができないようになっている。
- ・北佐原・新島ルートは始発8:40以前に通学利用に対応するため、循環バスルートとして運行をしている。

千葉市桜木町 グリーンスローモビリティ 「さくらまる」

<視察日時・場所>

令和7年5月16日(金) 11:00 ~ 12:00
千葉市桜木町 加曾利貝塚周辺

<運行内容>

名称: さくらまる(愛称)
運行主体: 桜木グリスロ運行管理委員会
運賃: 無料
定員: 5名(ドライバー1名に加え、補助員が1名同乗)
対象者: 誰でも乗車可能
運行時間: 概ね10:00 ~ 15:00
(区役所コース: 火曜日午前3便、水曜日6便)
(買い物コース: 火曜日午後4便、金曜日8便)
乗降所以外でもコース上であれば乗降可能

<車両内容>

- ・ヤマハ製 7人乗り(1人運転士、1人補助員のため5人が乗車可能)
- ・運行速度 20km/hまで
- ・車両購入費、車両整備費、運行に係る保険は千葉市が負担し、車両は無償貸出

<試乗内容>

金曜・買い物コース 第3便 11:00 ~ 11:22
加曾利貝塚 — セブンイレブン桜木2丁目店 — いなげや — 桜木駅 — いなげや — 加曾利貝塚



千葉県桜木町 グリーンスローモビリティ 「さくらまる」

主な聞き取り内容

- ・運営は「桜木グリスロ運行管理委員会」であり、地域が主体となって運行をしている。また、協賛企業・団体が約20（視察時点）あり、運営費、ドライバーのシフト調整事務、車両の充電用電力供給、駐車場の提供などにより運営協力がある。
- ・ドライバーはボランティアではあるが、千葉市から地域ポイント（ちばシティポイント）の進呈や協賛企業から飲み物などの物資支援がある。新規ドライバー向けに安全運転講習を実施。
- ・視察時点では、補助員含む12名程度の実動員が在籍するほか、チラシ作成や会計業務を行うメンバーが在籍。
- ・大雨や雷などの悪天候時は運転士の判断により運行を中止。インスタグラム、フェイスブック、ホームページなどで運行情報を配信。
- ・視察時点では、1日当たり約20名程度の利用。
- ・走行ルートは、バスが運行できない狭い住宅地を走行し、他の公共交通と重複は少ない地域を運行。付近を運行している千葉都市モノレールの駅や路線バスのバス停には接続している。

四街道市千代田地区 グリンスローモビリティ (実証実験中)

<視察日時・場所>

令和7年12月8日(月) 12:30 ~ 13:30
四街道市千代田地区

<運行内容>

名称: グリンスローよつかいどう
運行主体: 四街道市(民間バス会社に運行委託)
運賃: 無料
定員: 6名
対象者: 会員登録をした方
運行時間: 概ね9:30 ~ 16:30

(Aルート: 月曜日・金曜日午後1便、水曜日午前2便
Bルート: 月曜日・金曜日午前2便、水曜日午後1便
団地内は乗降所以外でもコース上であれば乗降可能)

<車両内容>

- ・シンクトウギャザー製 7人乗り(1人運転士)
- ・運行速度 20km/hまで
- ・車両は市が保有し、バス会社へ運行業務に加え保管・整備も併せて委託

<試乗内容>

Bルート第2便 12:49 ~ 13:20

もねの里モール駐車場 — ものいータルクリニック — 三徳駐車場 — ベリータウン薬局 — クスリのアオキ —
第7幼児公園 — 千代田北バス停付近 — 第5幼児公園 — 第15児童公園 — 3丁目北停留所



四街道市千代田地区 グリーンスローモビリティ (実証実験中)

主な聞き取り内容

- ・市内でも突出して高齢者が多い千代田地区に対し、地域コミュニティの増進、外出意欲の向上など千代田地区の活性化(人口の流入)を狙い、実証実験を開始したものである。
- ・路線バスへの乗り継ぎも考えルート設定したが、あまり乗り継ぐ利用者は見られない。
- ・令和6年10月から翌年3月の期間では、1便当たり平均6.79名の利用。
- ・利用する人は固定化されつつあり、一部の人のサービスになりかけている。
- ・1便当たりの運行委託料は約6,800円、乗車1回あたりの必要経費は約1,000円と、財政負担が大きい
ため、持続可能性が課題である。
- ・持続可能性を考慮すると、市が実施主体となるのではなく、必要性に応じて地域が主体となって実施する形が望ましいと考えており、千代田地区での実証実験は令和7年度で終了し、公募した際に応募のあった地域にて、地域運営型の実証実験に移行する予定であるとのこと。

柏の葉「自動運転バス（レベル2）」実証実験

<視察日時・場所>

令和7年11月13日(木) 10:00 ~ 12:30
県立柏の葉公園周辺(柏の葉キャンパス駅、東京大学柏キャンパス)

<運行内容>

名称: 柏の葉キャンパス駅・東京大学柏キャンパス間の公道での
「自動運転バスの営業運行実証実験」

実施主体: 柏ITS推進協議会

運行主体: 東武バスセントラル株式会社

運賃: 無料

定員: 28名

対象者: 東京大学柏キャンパス関係者

運行時間: 概ね11:00 ~ 15:00

平日4往復(うち1往復は特別便のため普段の運行はない)

<車両内容>

- ・いすゞ エルガミオ
- ・運行速度 40km/hまで
- ・車両は東武バスセントラル株式会社が保有し、柏ITS推進協議会の構成員により各システムの調整を行っている。

<試乗内容>

特別便柏の葉キャンパス駅発11:55

柏の葉キャンパス駅 → 東京大学柏キャンパス



柏の葉「自動運転バス（レベル2）」実証実験

主な聞き取り内容

○走行空間実証実験

- ・令和6年度に自動運転にも一般車両にも良好な走行空間を検討。乱横断する歩行者への対策などを行った。路上駐車対策としてラバーポールの設置や路面表示を行った結果、走行中の手動介入が2回/1便から1.5回/1便となった。
- ・令和7年度も同様の事業を実施し、自動運転の走行区間にカラーのラインと自動運転のマーク（大学考案）を設置した。副次的な効果として路上駐車抑制にも一定の効果があった。また、ゼブラゾーンをまたいで右折レーンへ入る一般車両と、ゼブラゾーンをよけて右折レーンへ入る自動運転バスの事故を防ぐため、ゼブラゾーンを撤廃した。この工事が最近完了したため、年度末までに効果検証を行う予定。
- ・令和8年1月より、一部区間にてレベル4の運行を開始する予定。

○社会受容性向上の取組

- ・市内への発信として情報発信や試乗会、ワークショップなどを積極的に開催しており、交通単体ではなく、まちづくりの一環としてイベントを開催することで、町全体の取組として認識してもらう。気軽に参加できる試乗会を開催したことで、参加者からは「自動運転になると、今まで運転手に補助してもらっていた車いすやベビーカーの乗降を乗客同士で協力しなければならない」との意識の変化も見られた。
- ・外部への発信として、姉妹都市を招いての試乗会や、テレビの取材、有名人に乗ってもらうなどで、柏市は自動運転をしているというイメージがつくように取り組んでいる。

(参考) TOYOTA 「e-Palette」 試乗

<視察日時・場所>

令和7年9月2日 (火) 13:00 ~ 15:00
長柄町 ロングウッドステーション

<車両内容>

車名: e-Palette (イーパレット)
全長/全幅/全高 4,950mm/2,080mm/2,650mm
定員 (座席+立席+運転席) 17(7+9+1)人
フロア高 270mm
ドア開口幅 1,280mm
最高車速 80km/h
最小回転半径 6.5m
登坂性能 17%勾配
航続距離 250km
電池 71.4kWh
充電 急速 (DC90kW・200A) 40分程度、普通 (AC6kW・30A) 12時間程度

